

ごあいさつ

北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道）の会社案内をご覧いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、北海道の広大な自然と地域社会を結ぶ公共交通機関として、安全・安心・快適な鉄道サービスの提供に全力で取り組んでまいります。

「安全」

「安全」は事業の根幹であり、すべての判断と行動の基準です。

しかし、当社は、会社発足以降の社会環境の変化や金利低下などを受け悪化する収支の改善に取り組むうち、いつしか絶対に守らなければならない安全の基準を守ることを忘れ、2011年の石勝線列車脱線火災事故をはじめとする一連の事故・不祥事を招きました。2014年には国土交通大臣より「輸送の安全に関する事業改善命令及び事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」を受けることとなりました。

事故後に入社した社員が半数を超える中、会社存亡の危機となったこれらの事故・事象で得た反省と教訓を風化させないため、2024年度より「安全計画2026」を始動しました。

その中で、2024年には函館線砂川駅構内において不適切な保安体制のもとで待避誤りを発生させ、虚偽の報告を行うといった事象を発生させるなど、安全の根幹に関わる不適切な事象を繰り返し発生させてしまいました。2025年3月には北海道運輸局長より「改善指示」を受け、5月より「強化型保安監査」が実施され、現在、安全管理体制の見直しと継続的な改善に取り組んでいます。安全はすべての基盤であり、社員一人ひとりがその意識を高め、日々の業務に真摯に向き合い、継続的な安全向上に取り組んでいます。

「変化への対応」

環境が目まぐるしく変化していく中、サステナブルな事業運営に向けた対応が求められています。

地域交通の変化においては、「当社単独では維持困難な線区」を公表してから8年が経過しました。2024年に国土交通大臣から発出された監督命令に基づき、2026年度末までに線区ごとに事業の抜本的な改善方策を確実に取りまとめるために、関係者の皆様ともなお一層の連携強化を図り、持続可能な交通体系の構築を目指します。

観光分野では、旺盛インバウンド需要は大きなチャンスであり、新たな魅力創出にも挑戦しています。新観光列車「赤い星」「青い星」の運行に向けて車両改造、商品開発・販売等の準備を進めているほか、「特急ニセコ号」「秋たび そうや」号など季節列車の運行で北海道ならではの旅の楽しさを広げています。

また、富良野や函館といった観光地における無人宿泊施設「JRモバイルイン」の開業も進め、様々な旅行需要の取り込みを進めます。

そして、環境の変化に強い「事業ポートフォリオの変革」、業務変革・生産性を向上すべく「DXの推進」、地球環境に貢献すべく「カーボンニュートラルの推進」、これらを実現していくためにも未来を担う「人材の確保と育成」の取り組みを一層推進します。

今、北海道新幹線札幌延伸の開業遅延という大きな課題に直面しています。当初2030年度末の開業を目指していましたが、トンネル工事の難航や人手不足により、大幅な延期が見込まれています。この遅れは、当社の経営自立や地域のまちづくりにも影響を及ぼす可能性があります。私たちはこの現実を真摯に受け止め、沿線自治体や関係機関と連携し、影響の最小化と将来への備えに努めてまいります。

北海道新幹線札幌延伸は、地域の可能性を広げる大きな一歩です。その実現に向けて、私たちは粘り強く努力を続けてまいります。

今後とも、JR北海道へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 綿貫 泰之



代表取締役会長
島田 修

代表取締役社長
綿貫 泰之

ごあいさつ	1
経営計画	
長期経営ビジョン・中期経営計画の推進	3
安全の再生	
当社が発生させた一連の事故・事象	7
当社が2024年度に発生させた事象	8
JR北海道 安全の再生／安全計画2026	9
人材確保・社員教育・コンプライアンスの徹底	
人材の確保	11
社員教育／コンプライアンスの徹底	12
鉄道環境の変化	
JR北海道発足後35年の経過	13
持続可能な交通体系の構築に向けた取り組み	17
激甚化する自然災害への対策	
冬期間における安全で安定した輸送確保の取り組み／ 台風や集中豪雨への対策	21
北海道新幹線	
北海道新幹線の概要	22
北海道新幹線札幌開業時期の見通しと今後の課題	23
北海道新幹線固有のコストと特殊性	24
北海道新幹線の冬期対策	26
青函トンネルの防災・避難誘導設備	27
並行在来線（函館～長万部～小樽）の概要	28
北海道新幹線の営業施策	29
札幌駅部の新幹線工事	30
駅周辺開発	
駅周辺開発の取り組み	31
札幌駅前再開発について	32
開発事業	
開発事業の取り組み	33
新たな事業領域への挑戦	35
鉄道事業	
都市間輸送と札幌圏の取り組み	36
観光列車の取り組み	38
業務運営の効率化～システムチェンジ	39
インバウンド需要の更なる上積みに向けた鉄道利用促進の取り組み	41
CS向上に向けた取り組み	42
環境保全の取り組み	
鉄道の環境優位性	43
JR北海道グループ	45
各種データ	46
沿革	49
会社概要	50

JR北海道グループ 経営理念

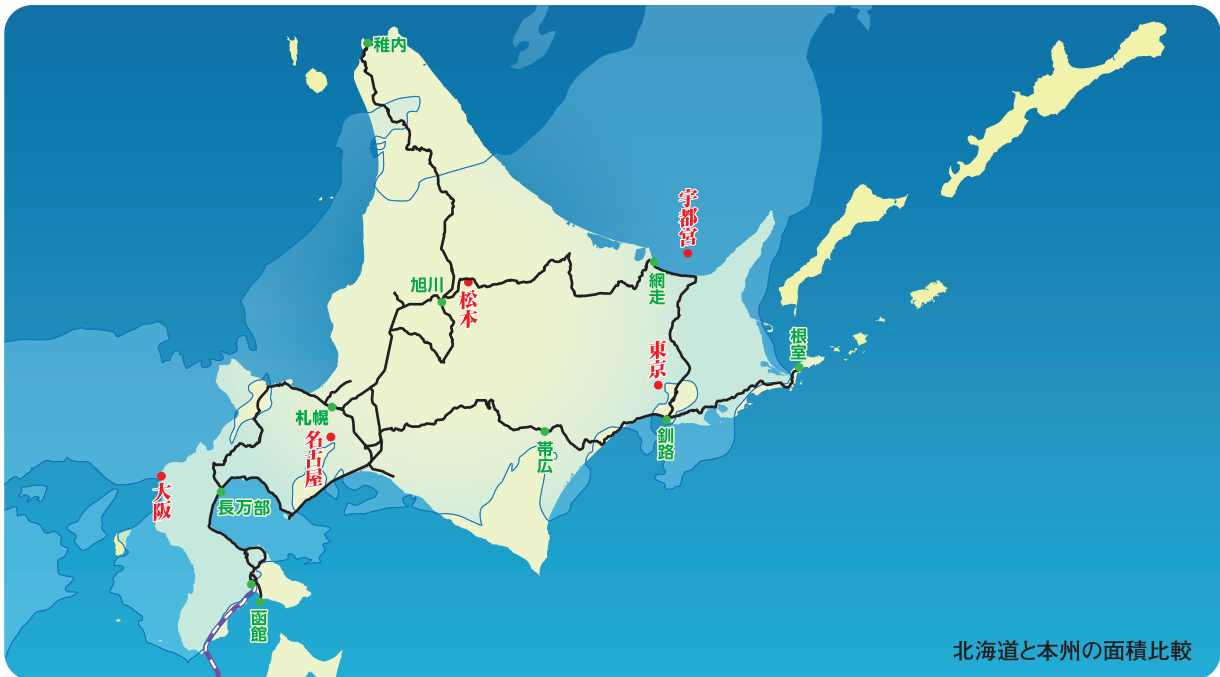
JR北海道グループは、

- お客様の安全を最優先に取り組みます。
- コンプライアンスの徹底をはじめ、企業に求められる社会的責任を果たします。
- 安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。
- 北海道に根ざす企業グループとして、地域の発展に貢献します。
- 個人の創造力とチームワークを高める企業風土を醸成し、社員の充実感の向上とグループとしての成長をめざします。

私たちの誓い

- お客様の命を守ります。社員の命を守ります。
- 「安全第一、安定第二」
危ないと思ったらすぐに列車を止めます。
- JR北海道社員としての自覚を持って行動します。
社会のルールを守ります。会社のルールを守ります。
- 「お客様あつての私たち」 感謝を忘れず仕事をします。
- 「確かな技術力」 身につけ、磨き、伝えます。
- 「鉄道はチームワーク」
お互い声をかけ合い、進んで協力します。
- 「一人ひとりがJR北海道」 誇りを持って仕事をします。

表紙／函館線妹背牛～江部乙間



北海道と本州の面積比較